

県民の友 9

No.1045
令和7年
[2025]

月号

命を守ろう
備えを見直し、

県政最前線

備えを見直し、命を守ろう

近い将来、発生が懸念されている南海トラフでの地震に備え、和歌山県ではこれまでさまざまな防災対策を実施してきました。しかし、2024年(令和6年)1月に発生した能登半島地震では、半島地域に特有の災害リスクが改めて明らかになりました。能登半島地震の教訓から大地震への備えを一層強化していく必要があります。

南海トラフの地震

南海トラフ沿いの3つの領域(東海・東南海・南海)においては、約90年～150年周期で繰り返し津波を伴う地震が発生しており、県内でも大きな被害を受けてきました(下図参照)。

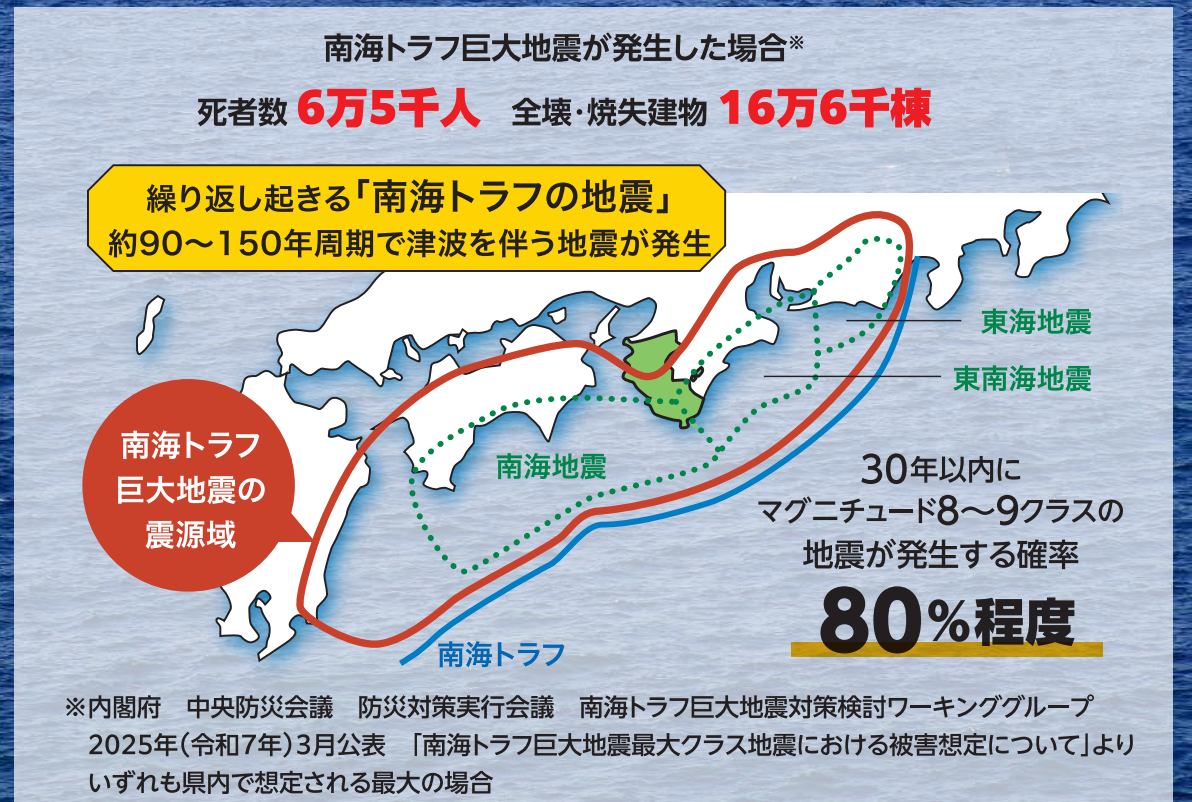
また3つの領域よりさらに広域の震源域で地震が連動した場合に発生する南海トラフ巨大地震ではさらに大きな被害が予測されています。2025年(令和7年)3月に、国はこれまでの南海トラフ巨大地震の被害想定を見直し、和歌山県内での死者数は最大約6万5千人、全壊棟数は約16万6千棟と公表しました。県ではこれを受け、県内の被害想定の見直しに着手しています。



画像提供: 東北地方整備局震災伝承館

ききかんりしょうぼうか
危機管理消防課
ぼうさいかくか
防災企画課
さいがいいたいさくか
災害対策課
(3課共通)

☎073-441-2260
☎073-441-2271
☎073-441-2262
FAX073-422-7652



半島防災の必要性

2024年(令和6年)1月に発生した能登半島地震では、道路が寸断され孤立が長期化したり、ライフラインの復旧が遅れたりするなど、半島特有の課題が浮き彫りになりました。

これを受けて県では、防災・減災対策の検証を行い、能登半島地震の教訓を踏まえた取組として住宅耐震化への支援拡充や、避難所の環境改善などを進めています。

また、こうした課題に対応し、みずからの命を守るためには、県民一人一人の取組も欠かせません。今一度、日ごろの備えを見直してみしましょう。



能登半島地震で寸断された道路

主な和歌山県の取組

- 耐震化補助制度の拡充
- 衛星通信による情報収集環境の整備
- 応援航空機の受入拠点整備
- 避難所環境改善の支援

能登半島と共通する和歌山県の特徴

- 急峻な山地が多く海に囲まれた半島地域
- 多くの孤立集落が発生する可能性
- 高い高齢化率
- 耐震化の遅れ

防災・減災対策の
検証結果はこちら



稲むらの火に学ぶ

世界津波の日10周年



稲むらの火の館 館長 雑賀 聡さん

教科書にも掲載された「稲むらの火」の物語で有名な濱口梧陵ですが、実際の歴史を学ぶと、住民を津波から避難誘導したことにとどまらぬ功績を残していることが分かります。

中でも特に重要なのが、津波の被害後に広村の堤防づくりを老若男女問わず住民全体で行ったことです。この結果、広村の堤防は津波への備えとしてだけでなく、地域の誇りとして後世に受け継がれ、住民一人一人の防災意識を高めることになったのです。

今年是世界津波の日制定から10周年にあたりますが、稲むらの火の館では、この防災意識を将来に継承できるように、講座や語り部により、今後も積極的に

11月5日は
津波防災の日



稲むらの火の
エピソードはこちら



稲むらの火の館
館長 雑賀 聡さん



広村堤防
(画像提供: 広川町)

に発信していきたいと考えています。県民の皆さんも「稲むらの火」を過去の出来事として終わらせるのではなく、各自が自分事として防災意識を高めるきっかけとしてもらえればと思います。行動してみてもいいですし、課題も多いので、是非、自分のまちの避難場所や避難経路を実際に確認するなど、災害時の備えや行動を見直してください。

大地震・津波への備え

深刻な被害が想定されている南海トラフの地震ですが、日ごろから備えを行うことで確実に被害を減らすことができます。いざという時に適切な行動をとれるように備えを見直しましょう。

津波から逃げ切る！

県では、津波への対策として海岸の堤防整備や避難路整備に取り組み、津波から安全に避難することが困難な「津波避難困難地域」の解消に努めてきました。その結果、2026年度末には、発生頻度が高いとされる東海・東南海・南海3連動地震に係る津波避難困難地域が県内すべてで解消される見込みです。津波の到達が早いとされる地域の方も避難を諦めず、「揺れたら逃げる」を徹底しましょう。また、災害という非常時においてスムーズに避難するためには日常における備えが重要です。地域の避難訓練に積極的に参加するなど、事前に避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

津波避難3原則

- 1 想定にとられない
- 2 最善を尽くせ
- 3 率先避難者になれ

備蓄品の確認

半島地域で山間部が多い和歌山県で大地震が発生した場合、避難生活の長期化やライフラインの復旧に時間を要することも想定されています。能登半島地震では水や食料だけでなく、トイレなどの衛生環境も大きな課題となりました。こうした大規模な災害に備え、1週間分程度の水や食料、簡易トイレなどを備蓄しましょう。また、簡易トイレについては、使用方法を事前に確認しておきましょう。



備蓄品チェックリスト(例)

1週間分を目安に！

避難バッグ

避難するときにまず持ち出すべきものを、ひとまとめにし、すぐに持ち出せるよう置き場所を決めましょう。

- ☐ 非常食
- ☐ 飲料水
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 懐中電灯
- ☐ ポリ袋
- ☐ 安全器具
- ☐ ヘルメット・ライフジャケットなど
- ☐ 救急医療品
- ☐ 常備薬
- ☐ 衣類、タオル
- ☐ 生理用品など

備蓄品

救援活動が受けられるまでの間に必要な水や食料などを、家屋が被災しても取り出せる場所に保管しましょう。

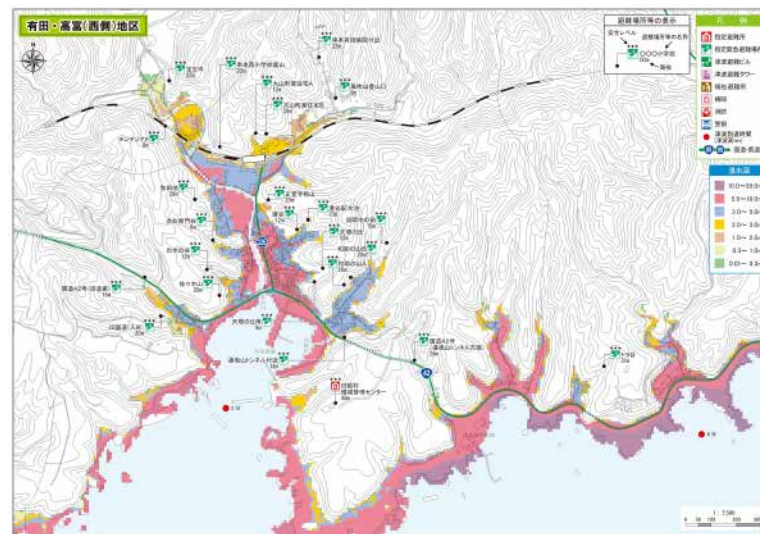
- ☐ 備蓄食料
- ☐ 備蓄水
- ☐ 毛布、寝袋
- ☐ 電池
- ☐ はさみ、ナイフ、缶切り
- ☐ 卓上コンロ
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ ブルーシートなど

家族の人数や日数に応じた備蓄量の計算はこちら



ハザードマップを確認

ハザードマップでは津波の浸水想定区域や避難場所の位置などが分かります。地図に示されています。ハザードマップは市町村の窓口等で配布されているほか、WEBでも公開されています。地域のハザードマップで、安全な避難場所や家の周りに危険な箇所がないかを確認しましょう。また、避難場所ごとに安全レベルも記載されていますので、状況に応じた避難ができるようにしておきましょう。



ハザードマップ(例:串本町)



地域のハザードマップを確認！



地震・津波浸水想定を確認！

住宅耐震化

能登半島地震では古い住宅ほど倒壊・崩壊など甚大な被害を受けました。しかし、古くても耐震改修が実施されていた住宅は被害が大幅に軽減されたと報告されています。

これを踏まえ、県では今年度から、補助金額の引上げやこれまで補助対象ではなかった1階部分のみの部分的な補強についても補助対象とするなど制度拡充を行っています。地震から命を守るため住宅耐震化に取り組みましょう。

問 各市町村の住宅耐震化担当課または県建築住宅課
073-441-3214
073-428-2038

事業種別		補助額
耐震診断	木造住宅	無料で実施
	非木造住宅	最大 8万9千円
耐震改修		最大 131万6千円
除却工事		最大 50万円

※補助制度の詳細は市町村により異なります。

ステップ1 耐震診断

木造住宅診断 無料

必要に応じて専門家への無料相談が可能

ステップ2 対策

補強設計・改修工事に最大131万6千円を補助

昨年度より15万円増額



地域の備え

能登半島地震では道路の寸断により孤立集落が数多く発生しました。大地震が発生した場合、和歌山県でも同様の事態が発生する可能性が高く、地域での備えが重要となります。

孤立に備える

約100人の住民が住む私たちの小引地区は、地形の関係から災害時に道路が寸断され孤立する可能性が高くなっています。孤立への備えとして、自主防災会で県や町の補助金を活用して高台に防災公園を整備し、そこに住人全員の食料や衣類などの物資を備蓄する倉庫を作りました。地区の防災計画も作成し、救護班・調達班など、災害が発生した際に誰が具体的にどのような役割を果たすかを事前に地区で決めています。

災害時に身を守るためには当事者意識が重要だと考えており、「自分たちの命は自分たちで守る」ふるさととは自分たちで守る」という思いで



由良町小引区自主防災会 会長 内芝 善明さん

日ごろから繰り返し防災研修や避難訓練を行っています。費用や人手など課題はありますが、今後避難訓練を振り返ることで改善点を見つけたら、備蓄の強化などに向けて取り組んでいきたいと思っています。



高台に整備された防災倉庫

防災情報の入手

いざというときに命を守るためには、正確でタイムリーな防災情報を手に入れることが重要です。信頼できる情報を日ごろから確認しておく、冷静な判断と素早い行動につながります。自身や大切な人の命を守るために、日ごろから防災情報をしっかり入手しましょう。

和歌山県防災ナビ(アプリ)

県では、避難に役立つさまざまな機能を搭載したアプリを配信しています。避難先の検索や避難場所までの所要時間の確認などの機能もありますので是非活用してください。

主な機能

- ① 避難先検索
- ② 防災情報のプッシュ通知
- ③ 家族等が避難した場所の確認
- ④ 避難トレーニング
- ⑤ 河川水位情報・土砂災害危険度情報
- ⑥ 医療機関診療情報(大規模災害時のみ)
- ⑦ 防災備蓄計算



ダウンロードはこちら



出張！減災教室

地震や津波についての基礎知識、家具固定の重要性、避難所運営等について分かりやすく学ぶために防災・減災に関する出前講座、「出張！減災教室」を実施しています。学校の防災教育、自治会や企業の防災研修等で幅広くご利用ください。



地震体験車「ごりよう君」

南海トラフ臨時情報

南海トラフの想定震源域などでマグニチュード6.8以上の地震等が発生すると、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。発表された場合には大規模地震に備え、国・県市町村の呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。

南海トラフ地震臨時情報発表の流れ



※プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など

詳細はこちら



さいがいたいおうりよく

きょうか

災害対応力の強化

能登半島地震を教訓として、県では「半島防災」の観点から防災・減災対策に漏れがないか、各対策が機能するか検証し、避難所の環境改善や、災害時に国や他自治体からの救援をスムーズに受け入れるための拠点整備などの取組を加速させています。

避難所の環境改善

能登半島地震では、ライフラインの復旧に時間がかかり、断水や避難生活が長期化しました。栄養に偏りのある食事が続いたり、トイレを長時間我慢したりするなど、慣れない避難生活により体調を崩して亡くなられた方も少なくありません。このような、直接的な災害の被害ではなく、長期にわたる避難生活が原因で亡くなるケースは「災害関連死」と呼ばれ、大きな課題となっています。こうした災害関連死を防ぐには、TKBと言われる「トイレ、キッチン(温かく栄養のある食事)、ベッド」の要素が重要とされています。



キッチンコンテナ 100人分の食事を調理可能

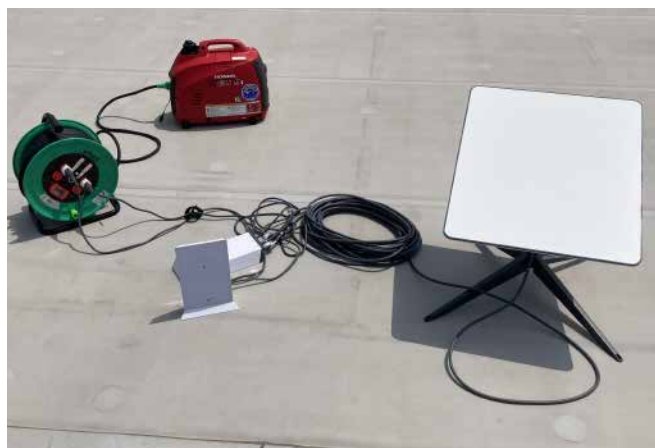


トイレカー 停電・断水時でも衛生的な水洗トイレを使用可能

衛星通信整備

大規模災害発生直後は、携帯電話などの通信インフラが寸断される可能性が高く、情報収集や支援体制の構築に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。能登半島地震においても通信の途絶により初期の情報収集に困難が生じました。

こうした教訓を踏まえ、県では高速衛星通信システム「スターリンク」を活用した通信環境の整備を進めています。スターリンクの導入によって、音声のみでなく映像などの大容量データ通信により、災害発生直後の迅速な情報収集が可能となります。



災害時の航空機拠点整備

能登半島地震と同様に、和歌山県も半島という地理的特性を持つため、大規模な災害が発生した場合には、道路の寸断によって陸路での支援物資の輸送や救援の受け入れが困難となることが予想されます。こうした状況に備え、県では航空機による支援を円滑に受け入れられるよう、旧南紀白浜空港跡地の整備を進めています。大規模災害時に防災拠点として活用するため、ヘリコプターの離着陸や駐機に対応した区画線・燃料保管庫の整備を進めています。





自然の中で心はぐくむ
 体験がいっぱい
 せいしょうねん





青少年の家



きほく せいしょうねん いえ

紀北青少年の家

〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
 ☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531

ツリーイング

時: 10月19日(日)
① 9:00～②13:00～ 各回90分
対: 小学生以上
定: ①②合わせて30人 **先着順**
費: 3,000円/人
申: 9月1日～10月4日

しらせき せいしょうねん いえ

白崎青少年の家

〒649-1123 由良町大引961-1
 ☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352

ファミリーアウトドアキャンプ

時: 10月25日(土)～26日(日) 1泊2日
対・定: 保護者1人と小学生以上のこども 8家族 **抽選**
費: 4,500～4,760円/人
申: ～9月26日



ほのぼのデイキャンプ

時: 11月1日(土) 10:00～15:00
定: 10家族 **抽選**
費: 1,800～2,000円/人
申: 9月2日～10月3日

しほのみさき せいしょうねん いえ

潮岬青少年の家

〒649-3502 串本町潮岬669
 ☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182

かぞく

家族でハロウィンパーティー

時: 10月25日(土)～26日(日) 1泊2日
定: 7家族 **先着順**
費: 5,600～6,130円/人
申: 9月20日～10月5日

※申し込み方法など詳しくは施設へお問い合わせください。

○○青少年の家
 

はたら ひと じんけん かんが こうさ
働く人の人権を考える講座

テーマ:「聴く力、支える力」～ハラスメント相談対応の基礎と実践～

時・場:①10月3日(金) ビッグ愛(和歌山市)②10月7日(火) 情報交流センター Big・U(田辺市) いずれも14:00～16:00

対:県内に在住・在勤の方

定:各回30人 先着順

申・問:郵送、電話、FAX、Eメール、インターネットで住所、氏名、電話番号、参加希望日を事前に**(公財)県人権啓発センター**

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛2階

☎073-435-5420 FAX073-435-5421

✉hataraku-j@w-jinken.jp

※手話通訳・要約筆記は

9月17日までに要予約



きょうしつ

ニュースポーツ教室

「モルック」を楽しもう

時:10月15・29日

いずれも水曜10:00～11:30

場:ビッグウエーブ(和歌山市)

定・費:各回30人 先着順 500円

申・問:電話で9月2日～事前に会場

☎073-433-0035

FAX073-433-4181



ありだしゅうしょく

有田就職フェア

有田地域の企業との合同面談会

時:10月18日(土) 13:30～15:30

場:有田市文化福祉センター

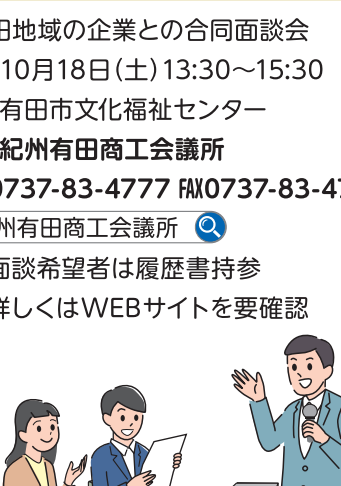
問:紀州有田商工会議所

☎0737-83-4777 FAX0737-83-4782

(紀州有田商工会議所 Q

※面談希望者は履歴書持参

※詳しくはWEBサイトを要確認



けんりついかだいがくこうざ
県立医科大学講座

①**白内障・眼内レンズに関する公開講座**
時: 9月20日(土) 14:00～16:00
場: ビッグ愛(和歌山市)
定: 220人 先着順
問: 県立医科大学眼科学教室
☎ 073-441-0649 **FAX** 073-448-1991

②**肝がんに関する公開講座**
時: 10月5日(日) 13:30～16:00
場・定: 県立医科大学紀三井寺キャンパス講堂(和歌山市) 500人 先着順
問: 県立医科大学附属病院消化器内科
☎ 073-447-2300 **FAX** 073-445-3616

③**最新の医学・医療カンファランス**
 IT医療やヒトの足に関する講話
時: 10月9日(木) 14:00～16:00
場・定: 県立医科大学紀三井寺キャンパス図書館棟(和歌山市) 30人 先着順
申・問: 電話、FAX、Eメールで申込書(WEBサイトで配布)を9月11日までに県立医科大学生涯研修センター
☎ 073-441-0789 **FAX** 073-441-0713
✉ life@wakayama-med.ac.jp
 ※手話通訳・要約筆記は要予約

④**生活習慣病に関する公開講座**
時: 11月1日(土) 13:30～15:00
場: 県立医科大学三葛キャンパス(和歌山市)
対・定: 中学生以上 100人 先着順
申・問: FAX、インターネットで住所、氏名、年齢、電話番号を9月30日までに県立医科大学保健看護学部事務室
☎ 073-446-6700 **FAX** 073-446-6720


 ②


 ③


 ④

しょくひん さくげん
食品ロス削減トークショー

ゲスト: コウケンテツ氏(料理研究家)
時: 10月26日(日) 14:00～15:30
場: ホテルアバローム紀の国(和歌山市)
定: 150人程度 先着順
申・問: FAX、インターネットで9月1～25日に循環型社会推進課
☎ 073-441-2675 **FAX** 073-441-2685
 ※一時保育・手話通訳・要約筆記は要予約



なんびょう

ほけんそうだん

難病・こども保健相談

しえん

支援センター

① 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症講演会・交流会

時:10月18日(土)13:30~16:00

場:ビッグ愛(和歌山市)

対:患者、家族、医療関係者など

申:電話、インターネットで10月10日までに問合先

② 染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患の講演会・交流会

時:10月25日(土)14:00~16:30

場:ビッグ愛(和歌山市)

対:患児、家族、医療関係者など

申:インターネットで10月14日(一時保育も同日)までに問合先

③ 炎症性腸疾患講演会・交流会

時:11月8日(土)13:30~16:00

場:情報交流センター Big・U(田辺市)

対:患者、家族、医療関係者など

申:電話、インターネットで10月31日までに問合先

①~③共通

定:①60人②30人③50人 **先着順**

問:県難病・こども保健相談支援センター

☎073-445-0520 FAX073-445-0603

※手話通訳・要約筆記は①9月

16日②9月24日③10月7日ま

でに要予約

だい かい

第9回わかやまりレーマソン

ラン

~パンダRUN~

時・部門:11月23日(日)①ファミリー

②ハーフリレー③フルリレー

場:紀三井寺公園(和歌山市)

対:②③小学生以上

定:①500人②③計200チーム **先着順**

費:②③2,500円(小・中学生1,500円)/人

申:FAX、インターネットで10月9日までにエントリー

※FAX申込用紙はWEBサイトで配布

FAX073-488-7308

問:わかやまりレー

マソン実行委員

会事務局

☎073-441-3699

わかやまりレーマソン 🔍

※詳しくはWEBサイトを要確認

9
月号

おしらせ

県庁・県教育庁

☎073-432-4111 (代表)

郵送: 〒640-8585 ○○課あて (住所不要)

各振興局代表電話 海草 ☎073-432-4111 健康福祉部 ☎073-482-0600 建設部 ☎073-488-7876 那賀 ☎0736-63-0100	伊都 ☎0736-34-1700 健康福祉部 ☎0736-42-3210 有田 ☎0737-63-4111 日高 ☎0738-22-3111 健康福祉部 ☎0738-22-3481	西牟婁 ☎0739-22-1200 東牟婁 ☎0735-22-8551 健康福祉部 ☎0735-72-0525 串本支所 串本建設部 ☎0735-62-0755
---	---	--

時…期日・時間 場…場所・会場 対…対象・資格 定…定員 費…費用 申…申込・応募方法

問…問合せ …Eメール …WEBサイトを検索

掲載のイベントは、中止や延期になる場合があります。詳しくは主催者にお問い合わせください。

びょうどうすいしん

ジェンダー平等推進センター

①保育つき読書の時間

こどもを預けて読書でリフレッシュ

時: 9月25日(木) 10:00～12:00

場: ビッグ愛(和歌山市)

対・定: 保護者とこども(6か月～未就学児) 10組 先着順

申: 郵送、電話、FAX、Eメール、来所で住所、氏名、電話番号、こどもの氏名・性別・生年月日を9月14日までに問合先

②語り合い広場『「ジェンダー」で読む、赤ずきんの物語』

時: 10月19日(日) 13:30～15:30

場・定: ビッグ愛(和歌山市) 30人 先着順

申: 郵送、電話、FAX、Eメール、来所で住所、氏名、電話番号を事前に問合先

※一時保育・手話通訳・要約筆記は10月8日までに要予約

③女性のためのキャリアデザイン講座

時: 11月8日(土) 13:30～17:00

場: 菱岡工業(株)本社(和歌山市)

対・定: 県内在住・在学の大学生等、県内企業に在勤の方 30人 先着順

申: 電話、FAX、Eメール、インターネットで氏名、電話番号、メールアドレスを10月24日までに問合先

※手話通訳・要約筆記は10月17日までに要予約

①～③共通

問: 県ジェンダー平等推進センター

〒640-8319和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛9階

☎073-435-5245

FAX073-435-5247

①②libre@sirius.ocn.ne.jp

③e1105011@pref.wakayama.lg.jp

もよお

催し

せいかつきょうようこうざ

生活教養講座

今話題の生活情報や消費者トラブルに備える知識を学ぶ

時: 10月1～22日の水曜(全4回)

いずれも13:30～15:00

場・定: 問合先 30人 先着順

申・問: 郵送、電話、FAXで住所、氏名、電話番号、参加希望日を9月18日までに県消費生活センター

〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛8階

☎073-433-1551 FAX073-433-3904

わかやまこころのフェスタ

時・場: 10月4日(土) ビッグ愛(和歌山市)

①13:00～13:50 オープニングイベント、県精神保健福祉協会長表彰、「ほっとする 笑顔つながる こころの絵」表彰

②13:50～15:00 講演会

講師: 平成ノブシコブシ 徳井 健太氏(芸人)

演題: 僕、ヤングケアラーでした。

③10:00～16:00 団体の活動紹介、作品展示・販売

定: ②100人 先着順

申・問: ②のみ電話、FAX、インターネットで住所、氏名、電話番号、特記事項を9月30日までに県精神保健福祉センター

☎073-435-5194 FAX073-435-5193

※手話通訳・要約筆記は要予約

はったつしょうがいじ しゃ じゅんかいそうだん
発達障害児・者 巡回相談

時・場:【橋本保健所(橋本市)】10月16日、11月20日、12月18日 いずれも木曜
【御坊保健所(御坊市)】10月17日、11月21日、12月19日 いずれも金曜
【新宮保健所(新宮市)】10月9日、12月11日 いずれも木曜
【新宮保健所申本支所(申本町)】11月13日(木)
いずれも11:00～16:00
申・問:電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を希望日2週間前までに
県発達障害者支援センターポラリス
☎073-413-3200
FAX073-413-3020
✉polaris@jtw.zaq.ne.jp



なんびょうかんじゃ
難病患者の
しゅうろう ねんきん りょうようそうだんかい
就労・年金・療養相談会

時	場
①10月14日(火) 13:00～16:00	田辺保健所 (田辺市)
②10月23日(木) 13:00～16:00	新宮保健所 (新宮市)
③11月 7日(金) 13:00～16:00	御坊保健所 (御坊市)
④11月12日(水) 13:00～16:00	橋本保健所 (橋本市)
⑤11月20日(木) 13:30～16:30	マルコーホーム 中央コミュニティセンター(和歌山市)

対・定:難病患者や家族 各回12人 **先着順**
申・問:電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話(FAX)番号、希望日、相談内容を各開催日の2週間前までに**県難病・子ども保健相談支援センター**
☎073-445-0520 FAX073-445-0603
✉e0503021@pref.wakayama.lg.jp
※手話通訳は各開催日の1か月前までに要予約

ほう ひ しほうしよしむりょうそうだんかい
「法の日」司法書士無料相談会

相続登記や遺言、借金などの相談
時:10月1日(水)～7日(火) 10:00～16:00(土日除く)
場:各司法書士事務所ほか
問:県司法書士会
☎073-422-0568



き てん
紀ららアート展

【絵画、写真、書道、版画の部】
規格:1辺100cm(写真は四つ切り)以内、総重量10kg以内
【工芸、陶芸、手芸、彫刻の部】
規格:1辺100cm以内、総重量20kg以内
対:県内在住で障害のある方または障害のある方を含むグループ
申・問:郵送、FAX、Eメールで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を10月10日までに**障害福祉課**
☎073-441-2532
FAX073-432-5567
✉e0404001@pref.wakayama.lg.jp



そうだん
相談

どういぞんししょうこべつそうだんかい
ギャンブル等依存症個別相談会

時:10月14日(火)13:00～17:00
場:田辺保健所(田辺市)
対・定:ギャンブル等依存症に悩む方やその家族 4組 **先着順**
申・問:電話、FAXで氏名(匿名可)、電話(FAX)番号を10月7日までに会場
☎0739-26-7952
FAX0739-26-7916



あ や
空き家なんでも
そうだんかい
相談会・セミナー

時・場:【セミナー】9月20日(土)14:00～15:00 泉宅建会館(和歌山市)
【相談会】9月24日(水)14:00～16:00 県民文化会館(和歌山市)、10月3日(金)13:30～16:00 かつらぎ町役場
申:電話、FAXで氏名、電話番号、相談内容、希望日、会場を各開催日の3営業日前までに**わかやま空き家相談窓口**
☎073-498-8484 FAX073-472-5555
問:建築住宅課
☎073-441-3184 FAX073-428-2038



読者のお便り募ります
県民の友に関する感想などを募集しています。郵送、FAX、Eメール(e0002001@pref.wakayama.lg.jp)で、

わかやまキャリアアップ
プログラム

ビジネススキルを習得する求職者向けの研修参加者を募集
時:9月21日(日)～12月16日(火)全7回
※各回ともオンライン参加可。詳しくはWEBサイトを要確認
申:インターネットで9月14日(現地参加)、9月19日(オンライン参加)までにFunTre(株)
問:労働政策課
☎073-441-2807 FAX073-422-5004
わかやまキャリアアッププログラム

しんたいしょうがいしゃアイシーティー
身体障害者ICTボランティア
ようせいこうざ
養成講座

外出困難な在宅の身体障害者に、パソコン等の操作支援を行うボランティアを養成
時:10月4日(土)・5日(日) いずれも9:30～15:30
場:ビッグ愛(和歌山市)
定:5人 **先着順**
申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を9月29日までに**県点字図書館**
〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛5階
☎073-488-5721
FAX073-488-5731
✉wakaten@wakaten.jp



しょうひせいかつ ようせいこうざ
消費生活サポーター養成講座

消費者トラブルを未然に防ぐ啓発ボランティアを養成
時・場:①9月18日(木) ビッグ愛(和歌山市)②9月24日(水) 西牟婁振興局(田辺市) いずれも13:30～16:00
対:県内在住かつ地域での見守り活動に意欲的な18歳以上の方
定:各回30人 **先着順**
申・問:郵送、FAX、Eメールで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を9月12日までに**県消費生活センター**
〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛8階
☎073-433-0241
FAX073-433-3904
✉e0313011@pref.wakayama.lg.jp



ぼしゅう
募集

ちゅうこうせいどくしよ
中高生読書まつり
ポップ
POPコンクール

おすすめの本を紹介するPOPを募集
対:県内在住・在学の中学・高校生(特別支援学校含む)など
申・問:郵送、持参で応募票(申込先、公立図書館、学校、WEBサイトで配布)を作品裏面に貼り付け、9月2日～10月5日に**県立図書館**
※県立紀南図書館への持参も可
〒641-0051和歌山市西高松1-7-38
☎073-436-9520
FAX073-436-9511



ほつぽうりょうどうもんだい
北方領土問題キャッチコピー

北方領土について広く認識してもらい、返還の機運を高めるため、キャッチコピーを募集
申・問:郵送、FAX、Eメール、インターネットで申込書(WEBサイトで配布)を9月30日までに**北方領土問題キャッチコピー(令和7年度)募集係**
〒105-0011東京都港区芝公園1-8-21 5階((株)公募ガイド社内)
☎03-5405-2065 FAX03-5405-2061
✉hoku2025@koubo.co.jp
北方領土問題キャッチコピー 募集



こうやさんろく たの
高野山麓いと楽し
フォトコンテスト

「いと自慢」をテーマに、橋本・伊都地域の美しい自然、文化財、伝統行事、風景等を撮影した作品を募集
申:【プリント写真部門】郵送、持参で応募用紙(申込先、WEBサイトで配布)を作品裏面に貼付し、11月7日までに問合先【Instagram部門】11月7日まで随時受付
問:伊都振興局地域づくり課
〒648-8541橋本市市協4-5-8
☎0736-33-4909 FAX0736-33-4931
(高野山麓いと楽し)
※詳しくはWEBサイトを要確認



せかいいさん
世界遺産セミナー

テーマ:豊臣秀吉が辿った黒河道
講師:木下浩良氏(高野山大学密教文化研究所受託研究員)
時:9月20日(土)13:30～15:30
場:伊都振興局(橋本市)
定:60人程度 **抽選**
申・問:郵送、FAX、Eメール、インターネットで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を9月15日までに**県世界遺産センター**
〒647-1731田辺市本宮町本宮100-1
☎0735-42-1044 FAX0735-42-1560
✉e1004011@pref.wakayama.lg.jp



黒河道

とくべつしえんきょうういくけいはつ
特別支援教育啓発セミナー

障害のある当事者の講演をとおして「誰もが強みを生かせる社会」の実現について考える
時:10月25日(土)14:00～16:15
場・定:県立図書館メディア・アート・ホール(和歌山市) 150人 **先着順**
申・問:郵送、FAX、Eメール、インターネットで申込書(WEBサイトで配布)を10月20日までに**特別支援教育課**
☎073-441-3683
FAX073-441-3652
✉e5016001@pref.wakayama.lg.jp
※一時保育・手話通訳・要約筆記は10月3日までに要予約



ミート アップ
わかやま MEAT UPフェア

県産ブランド和牛(熊野牛・紀州和華牛)の取扱い店をスタンプラリーで巡るフェア。抽選で県産ブランド和牛等が当たる
時:9月6日(土)～11月30日(日)
問:(株)テレビ和歌山
☎073-455-5721
(わかやま MEAT UPフェア)
※参加方法など詳しくはWEBサイトを要確認



にほんけんほぞんかい わかやましぶてんらんかい
日本犬保存会和歌山支部展覧会

時:9月28日(日)9:00～14:45
場:市民スポーツ広場(和歌山市)
問:日本犬保存会和歌山支部
☎(FAX)0739-72-5051
(日本犬保存会)
※日本犬保存会非会員で日本犬の血統書持参の方を対象に、愛犬の展覧会参加・お困り相談を11:45～12:45に実施。参加希望者は前日までに要問合せ



けんちょうかくしょうがいしゃじょうほう
県聴覚障害者情報センター

①**難聴者サロン・手話教室**
時:【教室】9月22日【サロン】10月6日 いずれも月曜13:30～15:00
場:ビッグ愛(和歌山市)
対:県内在住の難聴の方
定:各回20人 **先着順**
②**乳幼児きこえとことば相談 保護者学習会**
時・場:〈1〉9月27日(土)13:30～15:30 紀の国住宅南コミュニティセンター(和歌山市)
〈2〉10月11日(土)13:30～15:30 丹鶴ホール(新宮市)
対:「きこえ」や「ことば」に不安のあるこどもの家族や支援者
定:各回30人 **先着順**
申:電話、FAX、Eメール、インターネットで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を〈1〉9月12日〈2〉26日までに問合先
③**要約筆記・筆談講座**
時:10月16日(木)10:00～12:00
場:田辺市民総合センター
定:30人 **抽選**
申:郵送、電話、FAX、Eメールで申込書(申込先、WEBサイトで配布)を10月7日までに問合先
①～③**共通**
問:県聴覚障害者情報センター
〒640-8319和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛6階
☎①③073-421-6311②080-4882-8177
FAX073-421-6411
✉②w.mimi.s@watyosyokyo.or.jp
③w.d.center@watyosyokyo.or.jp



けんちょうわかちから

県庁の若い力



松本 喜大
県中央児童相談所 職種:心理職員
採用:令和3年度

心理学の知識・技術をもって、日々のストレスや悩みによる「生きづらさ」を感じている方をサポートしたいと思い、心理職員となりました。配属先の児童相談所では、「児童心理司」として、虐待、非行などさまざまな悩みを抱えるお子さんやご家族の話を伺い、一緒に改善策を考えたり、心理面からの支援を行うための検査やカウンセリングを行ったりしています。職場には同じ職種の先輩や同僚も多いので、仲間にも相談しながら、一人一人に寄り添った支援を考えるような心がけています。少しでも良い結果につながる支援ができたときはとてもやりがいを感じますし、相談者の方から「相談して良かった」「諦めずに最後まで来て良かった」と言ってもらえたときは、この仕事をしていて良かったと心から嬉しい気持ちになります。

共に働く職員や関係機関としっかり連携を取りながら、お子さんやご家族の役に立てるよう、支援を続けていきたいです。

元気ある県職員を募集 採用情報はこちら▼



こうとうがっこうそつぎょうていどにんてい だい かい

高等学校卒業程度認定(第2回)

時:11月8日(土)・9日(日)

場:県勤労福祉会館プラザホープ(和歌山市)

費:4,500～8,500円(受験科目数で変動)

願書配布:問合先、WEBサイトなど

申:郵送で9月12日までに文部科学省生涯学習推進課認定試験第二係
〒100-8959東京都千代田区霞が関3-2-2

問:県立学校教育課
☎073-441-3707
FAX073-441-3652



さいせきぎょうむかんりしゃ

採石業務管理者

時:10月10日(金)10:00～12:00

場:県自治会館(和歌山市)

費:8,100円(手数料)

願書配布:申込先、振興局建設部

申・問:郵送で9月1～12日に砂防課
☎073-441-3171 FAX073-441-3173



しよりしゃ

フグ処理者

時:11月17日(月)10:00～17:00

場:田辺市民総合センター

定:21人 先着順

費:3万円(実技用フグ代等)

願書配布:申込先、WEBサイト、保健所

申:郵送で9月11日～10月10日に(一社)県食品衛生協会
〒640-8269和歌山市小松原通1-3-5

問:生活衛生課
☎073-441-2635 FAX073-432-1952



しょうがいしゃ たいしょう けんしよくいんさいよう

障害者を対象とした県職員採用

時:10月19日(日)10:00～

場:県民文化会館(和歌山市)

試験区分・採用予定人数:一般事務2人、学校事務1人、警察事務1人

案内配布:申込先、県パスポートセンター、振興局総務県民課など

申・問:郵送、インターネットで9月1～19日に県人事委員会事務局
☎073-441-3763 FAX073-433-4085

※受験資格など詳しくは試験案内またはWEBサイトを要確認

※手話通訳・要約筆記は要予約



けんのうりんだいがっこう

県農林大学校

①農学部

推薦入学試験および県内農業系高等学校特別推薦入学試験

時・場:10月1日(水) 申込先

願書配布:申込先、WEBサイト

申・問:郵送で9月10～19日に県農林大学校農学部
〒649-7112かつらぎ町中飯降422
☎0736-22-2203 FAX0736-22-7402

②林業研修部 林業経営コース

時・場:10月18日(土) 申込先

願書配布:申込先、WEBサイト

申・問:郵送で9月22日～10月7日に県農林大学校林業研修部
〒649-2103上富田町生馬1504-1
☎0739-47-4141
FAX0739-47-4150



しけん

試験

けんりつ きん だ い び じ ゅ つ かん はくぶつかん がくげい いん

県立近代美術館・博物館学芸員

時:①県立近代美術館 11月8日(土)
②県立博物館 11月4日(火)

場:県民文化会館(和歌山市)

対:昭和39年4月2日以降生まれで、学芸員資格を有し、大学院で専門課程(①近・現代美術②日本美術史・工芸)を履修し、修士課程を修了した方

採用予定人数:①②各1人

願書配布:申込先、WEBサイト

申・問:郵送(簡易書留)で9月30日までに①県立近代美術館
〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8690
FAX073-436-1337



②県立博物館

〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8670
FAX073-436-6643



し

クリーニング師

時:11月6日(木)10:30～

場:県民文化会館(和歌山市)

費:7,000円(手数料)

願書配布:申込先、WEBサイト

申・問:郵送、持参で9月30日～10月10日に生活衛生課
☎073-441-2620 FAX073-441-2639



今日月の催し

もよお 県立施設

●施設無料開放日のご案内

県立近代美術館:9月7日(日)、10月5日(日)
県立博物館:9月7日(日)、10月12日(日)
県立自然博物館:9月24日(水)、10月29日(水)
紀伊風土記の丘:9月2日(火)、10月4日(土)

けんりつ きん だ い び じ ゅ つ かん

県立近代美術館 *

☎073-436-8690 FAX073-436-1337
〒640-8137和歌山市吹上1-4-14

9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 特別展 生誕120年 村井正誠 色のやどり・形のうぶすな

9月27日(土)～11月30日(日)

展 MOMAWコレクション 名品選

9月27日(土)～令和8年1月8日(木)

展 MOMAWコレクション 現代の美術

開催中～令和8年4月5日(日)

けんりつ はくぶつかん

県立博物館 *

☎073-436-8670 FAX073-436-6643
〒640-8137和歌山市吹上1-4-14

9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館/月曜(祝日の場合次の平日)、9月24日～10月10日

展 くらべてみよう! ふたりの絵

開催中～9月23日(祝)

けんりつ しぜん はくぶつかん

県立自然博物館 *

☎073-483-1777 FAX073-483-2721
〒642-0001海南市船尾370-1

9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

イ 恐竜化石調査に参加しよう!!

10月5日(日)13:00～、14:30～ 各回80分

対:小学生以上(小学生は保護者同伴)

定・申:各回30人 抽選 ～9月14日

しよくぶつこうえんりよつか

植物公園緑花センター

☎0736-62-4029 FAX0736-63-2570
〒649-6211岩出市東坂本672

9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館/火曜・水曜(9月23日は開園)

イ 水彩画教室

9月14日・10月5日 いずれも日曜9:30～12:00

定・費・申:各回16人 先着順 1,000円 事前申込

展 森のキノコ展

9月14日(日)～15日(祝)

イ キノコ観察会

9月15日(祝)13:30～15:30

けんりつ はしもと たいいく かん

県立橋本体育館

☎0736-32-9660 FAX0736-32-9650
〒648-0061橋本市北馬場455

9:00～21:00 休館/火曜

イ 秋のワンコイン100円! 免疫アップヨガ・体操体験会

9月25日(木)10:00～12:00

対・定・費:18歳以上 25人 先着順 100円

申:事前申込(有料託児ルームは7日前までに要予約)

なんき くまの

南紀熊野 ジオパークセンター

☎0735-67-7100 FAX0735-67-7191
〒649-3502串本町潮岬2838-3

9:00～17:00

展 復活!!ワカヤマソウルユウ

開催中～9月15日(祝)

展 は展示 イ はイベント

＊の施設は入館料が必要(65歳以上、障害者、高校生以下は入館無料)

和歌山ミュージアムコレクション



さい ふどき おか

紀伊風土記の丘 *

☎073-471-6123 FAX073-471-6120
〒640-8301和歌山市岩橋1411

9:00～16:30(入館は16:00まで)
休館/月曜(祝日の場合次の平日)、9月28日～10月3日

イ 館長講座「天皇の行幸と紀伊国」

9月27日(土)13:30～15:00

対・定・費・申:小学生以上 30人 先着順 100円 9月12日～

展 休館記念秋期特別展「遙かなる古墳時代の海へ～紀伊半島と海をめぐる交流～」

10月4日(土)～12月7日(日)

イ 秋期特別展関連講演会

①10月12日②19日 いずれも日曜13:30～16:30

対・定・費:小学生以上 各回60人 先着順 資料代(金額未定)

申:①9月26日～②10月3日～

かたおなみこうえん まんようかん けんこうかん

片男波公園万葉館・健康館

☎073-446-5553 FAX073-446-5554
〒641-0022和歌山市和歌浦南3-1700

9:00～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

イ 幼児&小学生のはじめての英会話

9月21日(日)14:00～15:00

対・定・費・申:3歳～小学生 10人 先着順 500円 事前申込

けんりつ としょかん

県立図書館

☎073-436-9500 FAX073-436-9501
〒641-0051和歌山市西高松1-7-38

9:00～19:00(土日祝は18:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、第2木曜

イ おはなし会(読み聞かせ・紙芝居)

9月13・20・27日14:00～、10月4日11:00～ いずれも土曜

対:乳幼児とその保護者、絵本に関心のある方

イ デイタイム・コンサート

10月3日(金)12:00～12:30

定:200人 先着順

けんりつ きなん としょかん

県立紀南図書館

☎0739-22-2061 FAX0739-22-4773
〒646-0011田辺市新庄町3353-9
(県立情報交流センター Big・U内)

9:00～19:00(土日祝は18:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、第2木曜

イ おはなし会(読み聞かせ・紙芝居)

9月21日、10月5日 いずれも日曜11:00～11:30

定:各回33人 先着順

どうぶつ あいご

動物愛護センター

☎073-489-6500 FAX073-489-6504
〒640-1251紀美野町国木原372

10:00～17:00 休館/火曜

イ 犬・猫の飼い方講習会

9月10日(水)・13日(土)・20日(土)・28日(日)、10月8日(水)・12日(日)・25日(土) いずれも11:00～

※講習会はリモートでも受講できます。(詳しくは要問合せ)

※犬・猫の譲渡を受けるには、講習会の受講が必要です。センターでは受講者に常時譲渡を行っています。

※犬の譲渡は狂犬病予防ワクチン接種代2,700円が必要です。

イ WAWフェスタ in 動物愛護週間

犬の散歩体験、動物とのふれあい、飼い方相談、塗り絵など

9月14日(日)・15日(祝) いずれも10:00～16:00

農家の皆さん、収入保険に
加入しませんか？

収入保険は、全ての農産物を対象に、自然災害や価格低下などあらゆる収入減少を広く補償する保険です。青色申告を行っている農業者が対象で、万が一収入がゼロになっても基準収入の最大約8割が確保されます。詳しくはお近くのNOSAIへお問合せください。

問：NOSAIわかやま
☎073-436-0771 FAX073-425-6380



県立こころの医療センターから

①認知症の予防をしませんか？
規則正しい生活や適切な食事・運動など、認知症の予防に重要な行動を日々の暮らしに取り入れるためのプログラム（予約制）を実施しています。

【予約受付】平日13:30～17:00

②依存症の専門外来を設置しています
ゲーム・ギャンブル・盗癖などの依存症の診療を行っています。悩みを抱える方や、ご家族からの相談も受け付けていますので、まずはお問合せください。

①②共通
問：県立こころの医療センター外来
☎0737-52-3221 FAX0737-52-5571

戦没者等の遺族に対する
特別弔慰金 請求受付中

対：戦没者等の死亡当時の遺族で、令和7年4月1日時点で、恩給や遺族年金等を受けている遺族がいない場合、弔慰金の受給権者・戦没者の子・兄弟姉妹等で順位の優先する遺族1人に支給

支給内容：額面27.5万円（5年償還の記名国債）

申：令和10年3月31日までに居住地の市町村

問：市町村、社会福祉課
☎073-441-2476 FAX073-425-6560

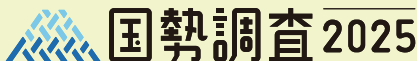
国勢調査を実施します！

【国勢調査とは】
日本に住んでいる全ての人・世帯を対象とする、最も重要な統計調査です。

【10月8日（水）までにご回答ください】
9月下旬頃から調査員が各世帯に調査書類を配布しますので、回答にご協力をお願いします。調査書類が届かないときや追加配布が必要なときはお住まいの市町村へご連絡ください。

【インターネットからも回答できます】
調査書類に記載の二次元コードを読み取ることで、IDやパスワードの入力不要で簡単・便利に回答できます。

問：調査統計課
☎073-441-2389 FAX073-441-2386



児童扶養手当・特別児童扶養手当受給者の皆さんへ

①児童扶養手当②特別児童扶養手当の現況届が未提出の場合、手当の受給ができなくなります。未提出の方は速やかに市町村へ提出してください。

問：①市町村、振興局健康福祉部、多様な生き方支援課
☎073-441-2493 FAX073-441-2501

②市町村、障害福祉課 ☎073-441-2514 FAX073-432-5567

きれいな水を未来に！

9月10日は下水道の日です。
和歌山県にはきれいな川や美しい海がたくさんあります。しかし、身近な生活排水を適切に処理しないと、川や海が汚れてしまいます。きれいな水を未来に残すため、下水道が使える区域（供用開始区域）になりましたら早期に下水道への接続をお願いします。下水道への接続工事は助成できる場合がありますので、お住まいの市町へお問い合わせください。

問：市町、下水道課 ☎073-441-3200 FAX073-436-2940

屋外広告物は
適正な設置・管理が必要です

屋外広告物は、景観保全と事故防止のため、県屋外広告物条例により設置許可申請と適切な管理が義務付けられています。また、看板の落下や倒壊といった事故がないよう、県と市町村が連携し安全性向上のための取組を強化しています。看板の所有者や管理者等は日頃から安全点検を行いましょう。

問：都市政策課
☎073-441-3228 FAX073-441-3232

自殺予防週間（9月10～16日）

一人でも多くの自殺者をなくすため、さまざまな問題や悩みを抱えている方の相談を電話やSNSで受け付けています。いのちの大切さについて考える機会です。一人で悩まず誰かに話してみませんか。

【相談先】
①電話相談「はあとライン」
☎0570-064-556（毎日24時間）

②LINE相談「いのちのセーフティーラインわかやま」

③生きる支援相談窓口一覧

問：県精神保健福祉センター
☎073-435-5194
FAX073-435-5193



②



③

9月9日は救急の日

救急医療は、患者の重症度に応じてその治療を担う医療機関が分けられています。軽症の救急患者が本来重症患者に対応する医療機関を受診したり、救急車をタクシー代わりに利用したりするケースが増えると、緊急性の高い重症の救急患者の治療に支障を来たすおそれがあります。

一人でも多くの命を救うために、救急医療の正しい理解と利用をお願いします。

ポイント

- 急病以外はなるべく医療機関の通常診療時間内に受診しましょう。
- 身近な診療所の医師である「かかりつけ医」を持ちましょう。
- 緊急性の低い場合は救急車の利用を避けましょう。
- 休日や夜間で、比較的軽症の方は休日急患診療所や在宅当番医を受診しましょう。

問：医務課 ☎073-441-2604 FAX073-424-0425

休日・夜間のこどもの症状で困ったときは

こども救急相談ダイヤル
☎#8000（プッシュ回線・携帯電話）
☎073-431-8000（ダイヤル回線・IP電話）
看護師などが相談に応じます。
相談時間：平日19:00～翌朝9:00、土日祝日・年末年始（12/29～1/3）9:00～翌朝9:00

受診できる医療機関を知りたいときは

和歌山県救急医療情報センター（毎日24時間）
☎073-426-1199 ※歯科の時間外案内は行っていません。
わかやま医療情報ネット
休日急患診療所や当番医のほか、医療機関の情報を詳細に検索できます。

わかやま医療情報ネット

皆さんは、電車やバスの中で空いている席があったとき、隣の席の人が外国人だったらどうしますか。日本にいる外国人の中には、「混雑した車内でもなぜか自分の隣だけ誰も座らない」という経験をしたことのある方が多くいます。

現在、和歌山県には約1万人の外国人が暮らしています。その中には、日本の生活に慣れていない人もいます。そして、日本の挨拶の仕方がわからないことで周囲から不愛想だと思われる人や、「○○人だから××だ」と決めつけられて傷ついている人がいるかもしれません。

世界には、サッカーが不得意なブラジル人、恥ずかしがり屋のインド人、お寿司が苦手な日本人等、さまざまな人がいます。自分の中の偏見や思い込みには気が付きにくいものですが、一度立ち止まって考え、人種や国籍にとらわれず、その人自身を理解するよう努めることも大切です。

外国人への無意識の偏見や思い込みについて考える
多文化共生社会をめざして

問 国際課
☎073・441・2057
FAX073・433・1192

県政情報発信中!

テレビ番組(テレビ和歌山)

きのくに21

毎週日曜9:30・[再]18:00

県民チャンネル

毎週月・火・木・金・土曜21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜20:30

ラジオ番組(和歌山放送)

ラジオでお届け! 県政最前線

毎週火曜15:45

県庁だより

毎日11:40・[再]月～金曜18:00

SNS



X



LINE



Facebook



Instagram



YouTube

県民の友読者プレゼント!

芦雪最中(6個入)

香ばしい皮の軽やかさが、つぶ^{あん}餡のおいしさを引き立てます。長沢芦雪は江戸時代に活躍した、串本ゆかりの画家。芦雪の落款『魚』はそのままに、風情を添える最中です。



有限会社串本儀平
☎0735-62-0075

抽選で10名様にプレゼント!

9月22日(月) <消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入し、ハガキで〒640-8585(住所不要)広報課「県民の友読者プレゼント!」係へご応募ください(WEBサイトからも応募可)。



※皆さんの個人情報、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。

問: 広報課

☎073-441-2032 FAX073-423-9500

県民の友最新号

万博通信
vol.13

ばんぱくかいさいちゅう

万博開催中!

和歌山県が万博会場で実施する イベント情報等をお届け!

関西パビリオン『多目的エリア』催事

予約
不要

振興局が主体となり、展示や体験で地域の魅力を余すところなく発信

日 時	エリア	内 容
9月10日(水) ・11日(木)	東牟婁	北山村の筏下りをはじめ、熊野の自然をVRで体験
9月12日(金) ・13日(土)	日高	和食の源流を体感できる食材の現物展示や試飲等を実施
9月14日(日) ・15日(祝)	伊都	真田甲冑隊のパフォーマンスや紙漉き等の伝統工芸を体験

※各日10:00～17:00に開催

和歌山DAY

要
予約

古来から伝わる和歌山の歴史文化を発信するステージイベントや和歌山県出身ミュージシャン・HYDE氏のスペシャルライブなど、極上な和歌山を体験

【日時】10月3日(金)

■ Day「こころの旅路はじまる」

時間: 10:30～15:30 (開場9:45)

場所: EXPOホール「シャインハット」

■ Night「EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN -WAKAYAMA DAY-」

時間: 18:00～(開場17:00)

場所: EXPOアリーナ「Matsuri」



問: 万博推進課

☎073-441-2703

FAX073-432-4410

詳細・予約はこちら▶



県民の友 有料広告募集!!

和歌山県内に全戸配布される広報紙で会社やお店のPRをしませんか?

掲載料: 1枠 税込250,000円(13～15ページ) / 税込300,000円(裏表紙)

掲載サイズ: 縦6cm×横18.2cm

掲載位置: 各ページの最下部 計4枠

☎ 広報課広報班 ☎073-441-2032 FAX073-423-9500



県ホームページ 有料バナー広告募集!!

月間アクセス数が約20万件的ホームページに広告を掲載しませんか?

掲載料: 1枠 税込30,000円(月額)

掲載サイズ: 縦60ピクセル×横150ピクセル

掲載位置: トップページの下部中央 計15枠

☎ 広報課県民情報班 ☎073-441-2034 FAX073-423-9500



※広告掲載にはそれぞれ申込みが必要です。また、広告内容によっては掲載できない場合があります。詳しくはWEBサイトをご確認ください。

広報課WEBサイトから「県民の友」のバックナンバーをダウンロードできます。

県民の友



総合
評価値 97

・古紙パルプ配合率 70%
・塗工量 30g/m以下

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。